

アクセスマップ

「くじらしま」は、昭島市内の以下の3園で開催している地域の子育て支援事業です。

たまほいくえん

〒196-0033
昭島市東町5-1-40
☎ 042-544-1151



ながみほいくえん

〒196-0025
昭島市朝日町5-4-17
☎ 042-545-0255



イコロ昭和の森

〒196-0002
昭島市拝島町4041-1
☎ 042-545-0156



KUJIRASHIMA・CONTENTS

子育て支援コンテンツ

「くじらしま」ではさまざまな支援活動をしています。地域で子育てを行っている方は、どなたでもご参加いただけます。※なお、新型コロナウイルスの影響によりイベントや活動を中止する場合もございます。詳細は、右下のQRコード（ホームページ）より、都度ご確認ください。

イベントパーク（行事体験）

園の行事に参加、体験いただけます

デイリーパーク（体験保育）

親子で日常の保育生活を体験（お子さまの給食有。無料）

子育てワークショップ

ミュージックダンス、わらべうた、食育、子育て広場、子育てサークル

たまごパーク

妊婦さんや0歳児が対象の遊び場。身体測定も実施。

ひよこパーク

在園児以外のお子さまが対象の遊び場です。

育児相談（随時受付）

各園にて受付ています。時間はご相談ください。

園内見学（随時受付）

各園にて受付ています。時間はご相談ください。

一時預かり保育（有料）

地域のお子さま対象です。詳細は各園へお問合せください。

※子育て支援「くじらしま」の詳しい情報やスケジュールはこちらのQRコードからご覧いただけます。



こそだておうえんマガジン

くじらしまだより



もくじ

SPRING INTERVIEW
ほいくの4コマ「フラミング」
おうちでできるシリーズ
けいじばん
こどもと一緒にあそぼう

……02
……03
……04
……06
……07

2022 SPRING

4-6月



SPRING INTERVIEW

多摩育児会のおはなし

待ちに待った春が来ました！たまほいくえんの園舎の建て替えも終わり、仮園舎から新しい園舎に戻って、初めての春を迎えます。そこで今号では、改めて「多摩育児会」について岡崎淳理事長にインタビューしました。



理事長 岡崎淳

Q：多摩育児会は、いつから昭島で、どうして保育園を始めたのですか？

岡崎淳理事長：創設者の古屋佐吉郎が、1946年に、昭島市の玉川町に「多摩保育園」

を開設したのが始まりです。当時の昭島は、昭和飛行機をはじめ軍需工場が多い地域で、戦後の焼け野原で遊ぶ子どもたちの窮状を見るに忍びず保育園を開設したそうです。その後、火災により1951年に現所在地に移転し、1959年に社会福祉法人となりました。法人になってからは、2009年から同じ昭島市内の中神保育園を市より運営移管し、そして、2015年に幼保連携型認定こども園イコロ昭和の森を開設しました。



古屋佐吉郎



中神保育園



イコロ昭和の森

Q：多摩育児会は、モンテッソーリ教育や木育を取り入れたり、音楽や芸術文化、ものづくりの活動などが盛んな印象がありますよね。

理事長：先代の園長が、「子どもたちに本物を与えたい」という考えを持っていました。例えば、「紙すき」の活動も牛乳パックからではなく、奥多摩から紙の原料「楮」^{こうぞ}の木を切るところから行ったり、卒園時に手渡す「卒園アルバム」の表紙カバーも、びわの木の葉を子どもたちが自分で採取して草木染めをして作っています。



卒園アルバムの表紙カバー

他にも、年長さんが自分で作ったお抹茶茶碗でおもてなしをするお茶会、羊毛フェルトを原毛から使って作る卒園制作のタペストリー、鼓笛隊や合奏などの音楽活動も恒例の文化活動です。モンテッソーリ教育については、平成に入ってから取り入れました。自分が園長になった2002年頃は子どもの保育が見直され、一斉保育よりも個を大切に子どもの人格を尊重するようになった時期でした。モンテッソーリ教育が求められているようにも感じています。また、課外教室としてサッカー教室を始めたのもこの頃。現在では多摩地域10園の年長園児が集まる交流試合「FSC キッズサッカー大会」を行うまでに発展しました。

Q：2023年には、新こども園「ミナバもくせいのもり」が開園すると聞きました。

理事長：もくせいの杜地区の開発で保育施設の設置が決まり、多摩育児会が開設を担うことになりました。当会には「子どもが育って、親が育って、地域が育つ」という考えがあります。保護者のみなさまもコロナ禍での子育ては大変だと思いますが、このような状況だからこそ、今まで以上に地域とのコミュニケーションを大切に連携を取っていきたいと考えています。



2019年には、たまほいくえんに分園「ホヌ」ができました。



Aコマエッセイ 日々是保育 フラミンゴ

園のできごとを多摩育児会の保育士が4コマまんがでお伝えします！



やってみよう！

おうちでできるシリーズ 春をたのしむ 1・2・3

Let's hug !

2
ひとりでできる
セルフケア
自分ハグ

1 モンテッソーリ教育 あけうつし

子どもの体は、体の中心から外に向かって発達していきます。大きな動きをすることで自分の意思によって動かすことのできる筋肉が鍛えられ、指先を使うような細かい作業もできるようになります。

あけうつしのお仕事は、家庭でも取り組みやすいお仕事の1つであり、段階を踏んで進める事が大切です。ピッチャーやコップなどを使ったあけうつしから始め、スプーン→トング→お箸へ移行していくと良いでしょう。

最初に大人がお手本を見せてあげましょう。

勢いよく移しあずきが溢れてしまう事もありますが、まだ力の調整が上手くできないからです。何度も繰り返すうちに力の加減が解るようになり、スムーズに出来るようになります。

【準備する物】

ピッチャー 2つ
あずき 適量
トレイ



【やりかた】

- ①ピッチャーにあずきを入れる
- ②もう片方のピッチャーに移す
- ③繰り返し行う

【応用】

出来る様になったら、トングであけうつしを試みましょう。

お皿を用意し、もう片方のお皿に移します。ポンポンのような柔らか

く掴みやすい物から始めることをお勧めします。

スムーズに出来るようになったら、色分けをすると色も覚えられます。

トングを使ったあけうつしでは、指先の力の加減も必要となり、お箸や鉛筆を持つための指使いの基本となります。



新年度が始まりました。保護者のみなさまも家事に育児に仕事にと、疲れがたまって、ついイライラしたり、逆に気分が沈んだりしていませんか？

そんな時にぜひ試してみたいのが「自分ハグ」です。パートナーやお子さんとのハグも、とても効果的ですが、実は自分で自分をハグすることが、心理学的に「癒し」や「セルフケア」としての効果があるとされています。慌ただしい1日が終わって、お布団に入った時や、ふとひとりになった時などに、自分をぎゅっと両手で抱きしめて、「私はこれでいいんだよ。大丈夫。明日もがんばろう。」と、自分自身を労ってあげてください。

心がふっと軽くなりますよ。(精神保健福祉士 後呂先生)

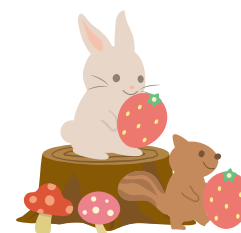
〈くじらしまほっとライン〉

精神保健福祉士 後呂先生の育児相談

最近はコロナのためコミュニティでの活動が少なく、どうやって人との関係性を作ったらいいかと悩んでいるお声もお聞きます。もし、誰かとお話したくなったら、くじらしまほっとライン



へお気軽にどうぞ。詳しくはこちら。



3 科学絵本で たのしくまなぶ 「いちご」

作：平山和子（出版社：福音館書店）

「科学絵本」は、食べ物、体、遊びなど子どもたちの身近なものを、様々な切り口で説明してくれる読みやすい絵本です。子どもたちの好奇心や興味をかきたて、想像力もいっぱい膨らみ、読んだ後は実際に「見たい！」「触れたい！」「感じたい！」という気持ちが生まれてきます。

今回は春の季節にピッタリな野菜「いちご」の絵本をご紹介します。

食卓に並ぶ見慣れた「いちご」。このシーンは子どももよく見ると思いますが、どうやって「いちご」はできていくのか、ということを教えてあげることができる素敵の一冊です。リアルに描かれている「いちご」を通して、親子で春を感じてみて下さい。

春のこの1冊！



公益財団法人 JKA 様から

温かなご支援をいただきました

子どもたち、保護者のみなさま、職員たちのため、コロナウィルスの感染が広がらず安心して過ごせる社会作りのための感染予防品を揃えることができました。



【サーモカメラ】接触なしで体温計測に手指消毒まで行える優れたもの。各園で大活躍しています。



【空気清浄機】プラズマクラスター搭載で空気中の菌を除去！換気後も空気清浄機があればより安心です。



【CO2 センサー（二酸化炭素センサー）】子どもが多い保育室で換気のタイミングが分かり、感染予防につながっています。



【テント】イベントなどに使用できるテントの個数が増え、密集が避けられ3密回避につながりました。



【パーティション】食事や保育活動中に飛沫感染を防ぎます。幅もあり、また個数も多いので大変役立っています。



【パルスオキシメーター】数値指針で血中酸素濃度が視覚的に分かり、感染者の発見に役立ちます。

【公益財団法人 JKA 補助事業の支援活動とは】



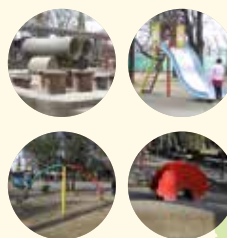
<https://www.jka-cycle.jp>

競輪とオートレースの振興や社会福祉等に役立てられています。みんなが生活しやすい社会作りに貢献しています。

<http://keirin.jp>



【自由広場】すべり台、ジャングルジム、ブランコ、シーソー、昔懐かしい土管、築山、砂場、などの遊具があるエリアです。トチの木など、実のなる木があるので、木の実や落ち葉拾いも楽しめます。



こども自由広場

たまほいくえん

子どもと一緒にあそびましょう！

昭和公園

JR 東中神駅から徒歩 5 分、たまほいくえんに隣接している入園料無料の公園です。四季折々の植物や自然がいっぱいで広々としており、子どもたちの大好きな小動物園、蒸気機関車の展示、ブランコ、ジャングルジム、すべり台等の遊具も充実しています。春は、園内に植えられた約 240 本のサクラが満開になります。お花見ピクニックにもぴったりですよ。



【旧相撲場】第 4 回国民体育大会（1949 年開催）の相撲会場だった広場です。たまほいくえんの園児たちもよくここで遊びます。すり鉢状に囲まれた広場は、春には満開のサクラを目線の高さで満喫できます。



【昭和公園動物園（動物園エリア）】多摩地域初めての市営動物園として 1963 年開園。市内の庭先で保護された野生のタヌキがきっかけで「子どもたちに楽しさを」と寄付が集まって動物園になったとのこと。現在は、インコ、ヤクシカ、くじゃく、クロヅルなどがいます。このクロヅルは 1981 年から飼育している都内でも珍しい長寿動物です。



【D51 蒸気機関車】1940 年製造。クラウドファンディングで改修されピカピカになりました。中に入って見学できるので電車好きの子どもに人気。改修の様子は市の HP（左 QR）からも見ることができます。



昭和公園は、1949 年 4 月 1 日に開園。約 121,640 m² の園内には、総合スポーツセンター、野球場、陸上競技場、テニスコートもあり、市民に親しまれています。

昭島市立昭和公園
東京都昭島市東町 5 丁目 11-43
042-541-0046
駐車場：あり（有料）

